

令和6年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	公明党
事 業 名	ローカル・マニフェスト推進協議会 全国地方議会サミット「非常事態への備え これからの議会」
事 業 区 分	①研究研修 ②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

議会として災害等非常事態への備え、災害時の対応や役割、議会運営についても明確にしておく必要がある。また、能登半島地震等の被災自治体や議会独自の取り組みや関係機関との連携等を参考に上田市において想定される最大規模の災害に対し、議会としての機能を維持する体制や計画の検討につなげる。また議会改革は不断の努力が求められる。上田市議会の現状をふまえ、新たなステージにおける取組を参考に議会機能の強化につなげたい。

2 実施概要

実施日時		視察先	早稲田大学 国際会議場
令和6年7月10日(木)～11日(金)		担 当	ローカル・マニフェスト実行委員会
10日13:00～17:30、11日10:00～16:00			
報 告 内 容	Day1 (10日)		
	1、基調講演「生活を支える強い地域を議会がつくる」 早稲田大学名誉教授 北川 正恭氏		
	2、「能登半島地震被災地の議会からの報告」と		
	パネルトーク「震災・災害対応の経験と自治体間支援の現場から		
	・ 輪島市議会 元議長 椿原正洋氏 ・ 珠洲市議会 議長 番匠 雅典氏		
	・ 能登町議会 議長 金七 祐太郎氏		
	3、講演「熊本地震の経験と自治体間支援の現場から」 熊本市長 大西 一史氏		
	4、講演「能登半島地震と珠洲市の状況と対応」 珠洲市長 泉屋 満寿裕氏		
	5、対談 熊本市長 大西 & 珠洲市長 泉屋 満寿裕氏		
	6、「災害対応へのDX活用事例」		
	国立研究開発法人防災科学技術研究書総合防災情報センター長 臼田裕一郎氏		
	7、災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性		
	佐賀県庁・JAXA・総務省地域情報化アドバイザー 円城寺 雄介氏		
	8、講演「東日本大震災の経験から」 元総務大臣 片山 善博氏		
	Day2 (11日)		
	1、「非常事態への備えと議会の対応・役割」 法政大学総長 廣瀬 克哉氏		
	2、パネルディスカッション コーディネーター 法政大学総長 廣瀬 克哉氏		
	「東日本大震災の経験を踏まえた災害対応」 久慈市議会 議長 濱欠 明宏氏		

報告内容	「大規模復興と議会のあり方」	陸前高田市議会議員・元議長 福田 利喜氏
	「住民避難・離散と自治体・議会の活動」	双葉町長 伊澤 史朗氏
	3、講演「デジタル・生成AI]を活かす」	デジタルハリウッド大学 橋本 大也氏
	4、議会改革の最新トレンドとトピックス	
	講演「議会改革の軌跡と展望——マニフェスト選挙から20年、その先に！」	
		大正大学 教授 江藤俊昭氏
	5、パネルディスカッション「議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携」	
		・可児市監査委員事務局長 平田 祐二氏
		・あきるの市議会議員・議選監査委員 子籠 敏人氏
	コーディネーター 可児市議会議員・議選監査委員議会 元議長	川上 文浩氏
感想・まとめ・市政に活かせること	コメンテーター 大正大学 教授	江藤俊昭氏
	6、「委員会代表質問を活かす」	講演 法政大学教授 土山 希美枝氏
		事例発表 甲賀市議会 副議長 田中 将之氏
		事例発表 別海町議会 議長 西原 浩氏
	7、講演「早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査から」	
		早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏
	〇感想(まとめ)	
	1、非常事態への備えと議会の対応・役割について平常時、発災期から応急期、応急期か～復旧期などフェーズごとの役割や注意点をまとめ、あらかじめ議員間で共有しておく必要がある。そのため、行政の対応策や議会の非常事態対応策の現状などについて検証する必要があると考える。とりわけ、議会が対応すべき事柄の不足部分を補い、非常事態対応マニュアル（計画）を策定すべきであると感じた。さらにこの計画等では復興期における有効な議論の場を確保することが大切である。	
	甚大な被害となると1自治体の対応には限界があることは明らかになっている。国や県、全国の市町村の支援が入ることはありがたいことだが、各市町村が支え合うことが大切であり、市民への対応だけでなく、他自治体の支援策について備えておくべきであり、多くの市民の理解が得られるだろうし、シビックプライドの醸成が図られるものと考えます。	
	支援を受けた能登半島地震の被災自治体から発災直後から対応に苦慮されたこととして排泄物対応が挙げられ、インフラに大きなダメージを受けたため、準備したトイレ対策は十分とは言えず、迅速な他市（熊本市）の援には感謝していると話されたことが印象的だった。	
	2、議会改革のステージは第3段階に入ったとし、議会機能の強化策として委員会代表質問や議選の監査委員との連携について提言があった。他自治体と同様に定例会一般質問では上田市においても会派代表質問が行われている。市議会における会派は任意団体であり、行政の受けとめは十分とは言えない。そんな中で委員会代表質問の取り組みは課題があるものの、委員会相違の意見や提言は行政の受けとめも重くならざるを得ず、市民意見を一層市政に反映させる手段として研究すべきだと感じた。	

